



SEIKEI FC
成蹊大学体育会蹴球部



2026年度新入生特設ページ





2026年度 成蹊大学体育会蹴球部主将 梶谷一晴

はじめまして。

2026年度、成蹊大学体育会蹴球部主将を務める梶谷一晴と申します。弊部は「関東リーグ昇格」を目標に活動しております。関東リーグへの昇格は、2008年以来17年間達成されていません。中途半端な覚悟や気持ち、責任では到底達成することのできないものであることをこの3年間身を持って体感しました。目標を達成する為、誰もが入部できるからこそ生み出せるチームとしての武器を磨くと共に、学生主体で取り組む組織運営にもより一層力を入れて取り組んでいきます。楽しい事も辛い事も、仲間と共に乗り越え、時間や気持ちを共有する中で目標に向かう生活は、人生のかけがえのない経験になります。新入生が入部し、この大きな目標に向けて共に闘うよい仲間が増えることを期待しております。少しでも興味のある方は是非一度グラウンドまでお越し下さい。最後の学生生活を本気で目標に打ち込む時間にしましょう。共に闘いましょう。





① スタッフ紹介



監督 宮本佳宜

1986年生まれ。

静岡学園高校在学中、全国高校サッカー選手権大会出場、全日本ユース(U-18)選手権準優勝。

2004年成蹊大学経済学部入学。

成蹊大学体育会蹴球部所属、関東大会参入戦出場。

2008年成蹊大学卒業。

2010年～2024年3月静岡学園コーチ、全国高校サッカー選手権大会優勝。

2024年4月より成蹊大学体育会蹴球部コーチ。



① スタッフ紹介



コーチ 小松崎 柊

1998年生まれ。

石神井高校出身。

成蹊大学経済学部入学 / 成蹊大学体育会蹴球部所属、2020年主将。

2022年成蹊大学卒業。

2022年～2023年社会人チーム COEDO KAWAGOE FC所属。

2022年4月～成蹊大学体育会蹴球部コーチ。

2023年～GRAMADO FC TOKINAN U-15(女子)コーチ。2024年埼玉県女子 U-15 1部前期リーグ優勝、秋季関東大会 3位

日本サッカー協会公認 C級コーチライセンス(B級ライセンス取得予定)



②過去の成績

| | 東京都大学サッカーリーグ | アミノバイタルカップ | 東京都トーナメント | インディペンデンスリーグ |
|--------|--------------|------------------|-------------|--------------|
| 2021年度 | 東京都1部 8位 | 本戦 1回戦敗退 | 本戦 1回戦敗退 | 11位 |
| 2022年度 | 東京都1部 7位 | 都学連予選 代表決定戦敗退 | 予選 2回戦敗退 | 5位 |
| 2023年度 | 東京都1部 4位 | 本戦 1回戦敗退 | 本戦 1回戦敗退 | 9位 |
| 2024年度 | 東京都1部 5位 | 本戦 1回戦敗退 | 予選 3回戦敗退 | 5位 |
| 2025年度 | 東京都1部 10位 | 本戦 2回戦敗退 | 予選 1回戦敗退 | 6位 |



②練習場紹介



成蹊大学のサッカー場は吉祥寺にある成蹊大学のキャンパス内にあります。吉祥寺のキャンパス内に全ての学部、学科があるため、授業後グラウンドまでの移動に時間が掛からないのが利点です。朝練時には、人工芝を張り替えたばかりのけやきグラウンド(陸上グラウンド)にて練習を行っています。また、グラウンド近くの体育館にはトレーニングルームがあり、ここでは選手がウエイトトレーニングを行っています。



③ 1週間、年間スケジュールについて

週間スケジュール

月曜日 オフ

火曜日 - 金曜日 各カテゴリーに分かれて練習

土曜日 - 日曜日 前日練習もしくは試合

平日の練習時間は以下の通りです。

朝 7:00-

夕方 17:00- or 18:50-

各カテゴリーがこれらの時間に分かれて練習をしています。長期休暇期間中は活動時間に変更があります。

年間スケジュール

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

- ・ 京レジカップ
- ・ 東京都サッカートーナメント
- ・ 東京・神奈川1部リーグ全日程終了
- ・ 東京・神奈川1部リーグ後期開幕
- ・ 甲南大学定期戦
- ・ 東京・神奈川1部リーグ前期終了
- ・ 学習院大学定期戦
- ・ 学内運動競技大会
- ・ 成蹊レガッタ(1年生)
- ・ 東京・神奈川1部リーグ開幕
- ・ アミノバイタルカップ
- ・ 成蹊フェスティバル
- ・ MOTHERS CUP
- ・ オフ





主将



部の代表としてチーム全体をまとめます。また、監督、コーチ、副将等と話し合いチームの方向性を決め目標に向け計画を立て実行します。

(新4年・梶谷一晴・経営学部総合経営学科・成蹊高校出身)

主務

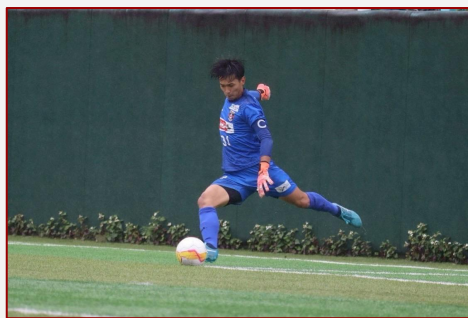


主将と各役職のサポートを行いながら、組織・競技の両面において運営に携わり、より円滑な運営と活動ができるように努めています。

(新4年・宮下貴麿・文学部現代社会学科・成蹊高校出身)



副将



主将と密にコミュニケーションを取りながら、主に競技の面で部員たちの中心となり、主将を補佐する役目を担っています。
 (左 新4年・濱名桜次郎・法学部政治学科・東久留米総合高校出身)
 (右 新4年・島谷 侑征・経営学部経営学科・北海高校出身)

※写真なし(新3年・西脇雄太・経営学部経営学科・北海高校)

副務



蹴球部の運営の書類、大学サッカー場の管理などを行います。部活動と学校との連携を担う大切な役職です。

(新4年・横田周・法学部法律学科・尚志高校出身)



学生運営委員



公式戦において、選手・スタッフのエントリー、試合詳細の決定、試合運営などを行っています。他にも、各大学の関係者が集まる代表者会議に出席したり、年度末に行われるリーグ戦の表彰式に出席したりと、成蹊大学体育会蹴球部の代表として、東京都大学サッカー連盟に携わる機会が多いため、非常に重要な役割となります。

学生幹事(都学連)



東京都大学サッカー連盟所属の各大学から提出された資料をチェックし、メンバーの登録、試合日程や会場の決定、HPやSNSの運用など、公式戦全体の土台的役割を担う、各チームから有志で集まった組織です。毎週水曜日に集まって業務を行います。他にも東京カップやアミノバイタルカップの決勝戦運営、Jリーグや代表戦の運営に招集される機会があり、都学連を通して様々な経験ができます。





マネージャー



マネージャーの主な仕事は、部活動中の選手のサポートです。ボトルの用意、練習のビデオ撮影、怪我人の対応をしています。その他の仕事内容としては部の公式 SNSであるX(旧Twitter)やInstagramなどを用いて日々、部の魅力を発信しています。試合の速報や結果など随時更新しており、沢山の方に蹴球部を知ってもらえるように試合ブログも書いています。蹴球部にはチームドクターはいますが、学生トレーナーがいません。そのため怪我人の管理もマネージャーが行っています。怪我人のテーピングを巻くために毎年 1年生のマネージャーは練習してテストを行います。1番近くで選手を支えられるのがマネージャーの魅力です。

分析スタッフ・学生審判

分析スタッフ

試合後のフィードバック、対戦相手の分析を行い、資料、動画を作成しチームの勝利のために戦略を練ります。オフシーズンには、全日本大学サッカー連盟の活動をはじめとした外部活動に参加し、成長を目指します。

学生審判

公式戦や練習試合の主審、副審を務めます。また、普段の練習にも参加し、審判業務だけでなく様々なサポートも行います。



5 選手の一日スケジュール紹介



SEIKEI FC
成蹊大学体育会蹴球部

選手はどのような生活をしているのか？

今回は一人暮らしをしている上野凌空選手(新4年・経済学部 現代経済学科・実践高校出身)に聞いてみました！



7:30 起床

おはようございます。私の朝起きたらシャワーを浴びることから始まり、その後ゆっくり朝ごはんを食べます。

13:10～ 授業

僕は経済学部にも所属しています。部活の友達と協力しながら授業を受け、先輩にアドバイスをもらいながら単位取得目指して頑張っています。

17:00～ 練習

ここから練習に入ります。成蹊大学はグラウンドが同じ敷地内にあるので、移動の必要はありません。早く行き、ストレッチは入念に行います。怪我は禁物です。

20:00～ バイト

練習が終わったら急いでシャワーを浴びて、バイトに向かいます。僕は定食屋でバイトしているので賄いをいただきます。練習終わりのバイトは疲れますが頑張ります。

24:00～ 帰宅



山崎 大馳 (新2年・法学部法律学科・長野日本大学高校出身)

Q.なぜ、大学でもサッカーを続けようと思ったのか？

私は大学でもサッカーを続けるか迷っていましたが、この体育会蹴球部に入部を決めた理由は、サッカーを本気で取り組みながらも人として成長したいと考えたからです。この体育会蹴球部では、「関東リーグ昇格」という目標に向かって本気で練習に取り組むだけでなく、学生が主体となって試合運営や社会貢献活動も行います。そうした活動を通じて社会的ルールやマナーを学ぶことができるので、サッカーだけではなく人としても成長できると思い、入部を決めました。



伊東 紗良 (新2年・法学部政治学科・共立女子高校出身)

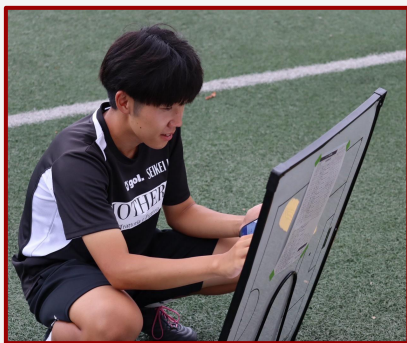
Q.なぜマネージャーになろうと思ったのか

私は元々サッカー観戦が好きでしたが、大学では観戦者だけではなく、共に戦いたいという気持ちを持ち、蹴球部に興味を持ちました。そして蹴球部なら、自分の力を全力で注ぎ、仲間と目標に向かって努力できると感じ、入部を決めました。今はこの環境が自分にとって大切な場所になっています。

Q.入部にあって不安だったこと

私は教職課程を履修しなかったため、授業や実習が多い中で続けられるのかなど、両立をしていけるかが心配でした。ですが、見学の際に教職を取りながら活動している先輩がいることを知り、両立できる環境があると実感しました。





新井雄稀(新3年・文学部英語英米文学科・県立前橋高校出身)

Q,なぜ分析スタッフになろうと思ったのか

自分は、野球をやっていましたが、幼い頃からサッカーを見るのがとても大好きでした。そのため大学では、そんな大好きなサッカーに関わりたいたと考えたからです。

Q.入部にあって不安だったこと

高校まで硬式野球をやっていたため、サッカー未経験者が分析スタッフになってチームの役に立てるのかという不安がありました。一方で、サッカーの勉強はもちろん、日々の練習に参加し、選手、コーチと親しくなることで自分の意見を積極的に取り入れてもらえ、チームに貢献できている実感があります。


 岩崎拓都
 (新3年・法学部法律学科・静岡聖光学院高校出身)

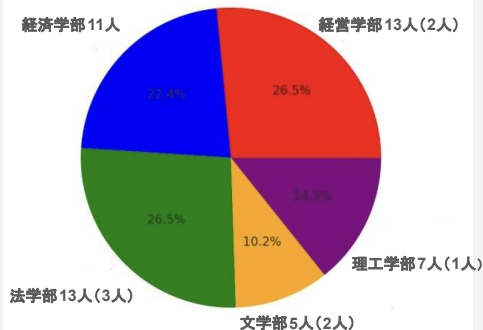
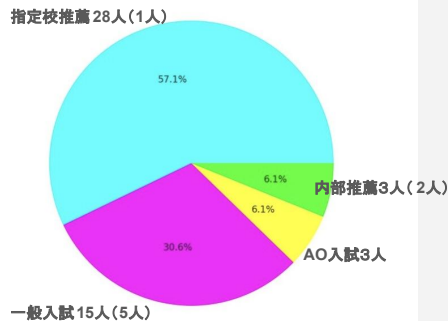
Q,なぜ学生審判になろうと思ったのか

中学高校とサッカー部に入っていて、大学ではプレーする以外でサッカーに関わりたいたと思った からです。

Q.入部にあって不安だったこと

大学の勉強に加え、部に所属するということで、どのくらい自分の時間を確保できるかが不安でした。実際に入部してみると、活動時間外に友達と出かけることでできるので、充実した日々を過ごせています。





成蹊大学には基本的に 3種類の受験方法があります。

AO入試 ... 自分の将来やりたいことに向けて各学部への入学部を強く志望し、教科重視の入試ではあかることのできないさまざまな個人の能力を総合的に審査する入試方法です。帰国生、社会人、外国人などの特別受験制度があることも特徴です。

指定校推薦入試 ... 指定校推薦入学は、本学に入学を希望する生徒で、学業・人物ともに優秀で入学後の成果が大いに期待できる者を、高等学校長または中等教育学校長の推薦により入学を許可するものです。全学部ともに指定校制で実施されます。指定校の選定基準は学部によって異なりますが、過去数年間の入学者数、在学生の成績などを勘案して決定します。推薦入学基準も学部によって異なりますが、高校での成績および人物優秀な高校生に限られます。

一般入試 ... 一般選抜でも幅広い方式の入試が実施されます。その方式ごとに指定された教科の学力試験を行い合否が決まります。一部の組み合わせを除いてほぼ全ての方式の併願が可能なので、合格のチャンスが大きく広がります。

()の人数はマネ含むスタッフのデータとなっています。



①一般入試



廣田 理一
(新2年・法学部法律学科・八千代松陰高校出身)

私の高校は指定校推薦や総合型推薦などの入試形態で進学する生徒が半数以上居ました。部活を最後までやりながら大学に進学したいと考えていたので、私も指定校推薦を考えていましたが、校内選考で落ちてしまい、総合型推薦に切り替えましたが、それでも志望していた大学には合格することが出来なかったため一般入試で受験することになりました。部活の引退が12月中旬だったので、入試まで2ヶ月程しかありませんでしたが、短い期間の中で集中して勉強することで合格することができました。ダラダラ長い時間やるのではなく、休憩も挟みながら短時間で集中するのが大事です。



②AO推薦



萩原 一真
(新2年 経済部現代経済学科・東海大学付属相模高校出身)

私は、高校2年の際に、そのまま東海大学に進むのではなく、他大学を目指そうと思いました。当初は、指定校推薦を考えており、学校の成績を取る以外考えていませんでした。しかし、指定校推薦では行きたい大学が無く、高校3年の春から本格的に、総合型推薦の準備を始めました。総合型推薦に特化した塾に通い、一般受験の勉強はしていませんでした。準備を進める上では、試験、大学で勉強したい学問、社会問題の勉強や英検(2級)、高い内申点の取得。また、プレゼン、面接の練習など多面的に勉強していました。総合型選抜では、過去の経歴も大切ですが、大学に入ってから何をしたいか、どうしてこの大学のこの学部なのかという、熱意を合理的に伝えることがとても大切になります。また、総合型推薦には英語が流暢に話せたり、特殊なスキルを持ったりと、特別な人が多いイメージもありますが、私は全くそういうタイプではありませんでした。しっかり準備すれば誰でも合格するチャンスがある受験方法ですので、頑張ってください！



③ 指定校推薦



齊藤 大晶
 (新2年・法学部政治学科・暁星国際高校出身)

私の高校3年間はサッカー中心の生活でした。そのため、受験勉強との両立は厳しいと考え、高校1年生の時から指定校推薦を視野に入れていました。私は寮生活をしており、グラウンドまで1分という距離に住んでいたため、部活動が終わった後に自主練を行い、その後寮に戻って風呂に入り、食事を済ませると、毎日1時間半の自習時間を確保していました。そこで、その日に学んだ授業内容の復習をコツコツと行い、定期テストで高得点を取れるよう努め、良い成績を維持できるよう努力していました。指定校推薦では、学内推薦に通過すると志望理由書と読書感想文の試験があります。志望理由書では、自分がなぜ成蹊大学に入りたいのかを深く考え、明確にすることが重要です。読書感想文では、本を読んで自分が何を感じ、何を考えたのかを、どれだけ読み手に正しく伝えられるかが求められます。その対策としては、本を読むことに慣れておくことに加え、自分の意見や考えを持ちながら読み、それを適切な言葉で表現する力を身につけることが大切だと感じました。



成蹊大学体育会蹴球部をより多くの方に知っていただくために Instagram・X・YouTube・TikTokにて部活動の様子を日々更新しています。是非、ご覧ください。

Instagram <https://www.instagram.com/seikeifc/>

X <https://x.com/seikeifc>

Youtube https://www.youtube.com/channel/UCZwfW4lt04_BXrYYXLrDYIlg

Tik Tok https://www.tiktok.com/@seikeifc?_r=1&_t=ZS-91xNRBLIhB4

成蹊大学体育会蹴球部では選手、マネージャーだけでなく、審判、コーチ、分析、映像編集など様々な分野で活躍する学生スタッフを募集しています！自分の持っている知識や好きな事を活かして蹴球部、そして大学サッカーを盛り上げ、4年間しかない大学生活を有意義なものにしませんか？

経験者も、未経験者も一緒に充実した大学生活を送りましょう！

http://seikei-fc.com/inquiry_detail/

